

～会計を通じて人に幸せを～

Hirai's レビュー

2011年6月号 (No. 30)

平井会計事務所 税理士 平井満広
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
 芝浦アイランドエアタワー1704号
 電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350
 Mail:m_hirai@hirai-ao.com
 URL:http://www.hirai-ao.com/

銀行も必ずチェックしている！P/L経営からB/S経営へ

社歴も規模も業績もたいして違わないのに当社と他社は銀行の態度が全然違う！と感じたことはありませんか。そんなときはB/Sに原因があるかもしれません。

◆ふたごの会社

A商事とB商事は社歴も規模もほとんど同じのふたごのような会社です。実際、前期までの貸借対照表は以下のとおりまったく同じ数字となっていました。

＜A商事＞ 貸借対照表(前期)

単位:万円

科目	金額	科目	金額
現預金	500	買掛金	400
売掛金	1,000	未払金等	100
商品	150	長期借入金	2,000
固定資産	2,000	資本金	500
減価償却	△500	剰余金	150
合計	3,150	合計	3,150

＜B商事＞ 貸借対照表(前期)

単位:万円

科目	金額	科目	金額
現預金	500	買掛金	400
売掛金	1,000	未払金等	100
商品	150	長期借入金	2,000
固定資産	2,000	資本金	500
減価償却	△500	剰余金	150
合計	3,150	合計	3,150

当期の業績(損益計算書)も以下のとおり同じ数字です。

＜A商事＞

損益計算書(当期)

単位:万円

売上	12,000
売上原価	4,000
粗利	8,000
減価償却	100
他経費	7,700
当期利益	200

＜B商事＞

損益計算書(当期)

単位:万円

売上	12,000
売上原価	4,000
粗利	8,000
減価償却	100
他経費	7,700
当期利益	200

◆銀行の態度が変わった！

ここまでまったく同じ数字の両社でしたが当期の決算後から銀行の態度が変わってきました。A商事はこれまでとおりふたつ返事で融資を引き受けてくれるのですが、

B商事が融資を申し込もうとすると試算表などの資料の提出を求められたり、返事をはぐらかされたりといったことが続くようになりました。おかしいと思ったB商事の社長は思い切って専門家に相談することにしました。

＜A商事＞ 貸借対照表(当期)

単位:万円

科目	金額	科目	金額
現預金	800	買掛金	450
売掛金	850	未払金等	100
商品	200	長期借入金	1,850
固定資産	2,000	資本金	500
減価償却	△600	剰余金	350
合計	3,250	合計	3,250

＜B商事＞ 貸借対照表(当期)

単位:万円

科目	金額	科目	金額
現預金	200	買掛金	250
売掛金	1,400	未払金等	100
商品	600	長期借入金	2,400
固定資産	2,000	資本金	500
減価償却	△600	剰余金	350
合計	3,600	合計	3,600

専門家は両社のB/Sを並べて説明をしました。

「B商事はA商事に比べて在庫が多く資金繰りが厳しいようです。実際に当期も借入をしています。また売掛金が多く買掛金が少ないようです。原因は何でしょうか」B商事の社長は、新商品が売れ残って大変なこと、売上を少し水増ししていることを素直に話しました。専門家は「B/Sを見て銀行も実態を見抜いてるのでしょう」と答えました。社長は肩を落として帰って行きました。

◆B/Sもしっかり分析

事例のように、最近の銀行はP/LだけでなくB/Sもしっかり分析しています。分析の結果、資金繰りに問題があったり数字が信用できない場合は、融資を断ることもありえます。銀行には「黒字の決算書」を出せばよいだろう、と安易に考えていると、突然そっぽをむかれるかもしれません。P/LだけでなくB/Sの数字も改善するような経営を行うことが、これからは必要です。

※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/